



※本資料は当社ホームページで公開しております動画「CAMベトナムウィークリー(毎週月曜更新)」を元に作成しております。右のQRコードからご視聴いただけます。



情報提供用資料

2025年3月17日

CAMベトナムウィークリー (先週のVN指数：3/7-3/14)



	週間	月間	YTD
VN指数	0.01%	1.59%	4.69%
VN30指数	-0.20%	2.26%	3.14%
VN中型株指数	-2.18%	-1.70%	3.17%
VN小型株指数	-1.79%	-2.70%	2.10%

先週のVN指数は1326.05ポイントから1326.15ポイントへと+0.01%となりました。ベトナムを代表する複合企業が、カタールの投資会社と投資協力に関する覚書を交わしたことが、引き続き買い材料視されました。また、ベトナムの財務省と国家証券委員会が市場分類の格上げに向けて改めて課題を整理し、対応策の実施スケジュールを示したことなども好感されました。週後半には利益確定の売り圧力を受けましたが、週間ではほぼ横ばいとなりました。規模別に見ますと、大型株のVN30指数が-0.20%、中型株指数が-2.18%とそれぞれ反落いたしました。また、小型株指数が-1.79%と続落しております。

	週間	月間	YTD
為替レート (ドン対円レート)	0.17%	-0.68%	-6.30%

通貨ベトナムドンにつきましては、米ドルに対して横ばい圏での推移となりました。一方、ドル・円相場は、トランプ米大統領が米景気減速を容認したとの見方などからドル安・円高で始まりましたが、週半ば以降には、米労働市場の堅調さやトランプ米政権の関税強化がインフレ再燃につながりかねないとの見方などから、米長期金利が上昇し、ドル高・円安に転じました。ベトナムドンは円に対して+0.17%と小幅な上昇に転じております。

セクター	騰落率	セクター	騰落率
金融	-0.5%	素材	-2.1%
不動産	4.0%	公益事業	-0.8%
生活必需品	0.0%	エネルギー	-2.7%
一般消費財	-2.1%	情報技術	-6.9%
資本財	-2.4%	ヘルスケア	-0.8%

セクター別に見ますと、左上から2番目の不動産が+4.0%と続伸し、VN指数を支えました。一方、右下から2番目の情報技術が-6.9%と大幅な反落となっております。



銘柄名[ティッカー]	騰落率
ビングroup (不動産) [VIC]	+15.2%
サイゴンハノイ銀行 (金融) [SHB]	+7.0%
ビンホームズ (不動産) [VHM]	+6.6%

銘柄名[ティッカー]	騰落率
FPT (情報技術) [FPT]	▲7.1%
バオ・ベト・ホールディングス (金融) [BVH]	▲5.5%
ベトナム石油総公社 (エネルギー) [PLX]	▲3.4%

大型株VN30指数構成銘柄の騰落率を見ますと、複合企業のグループが+15.2%と大幅な上昇を続けました。また、大手民間銀行のサイゴンハノイ銀行が+7.0%と上昇し、ビングroup傘下の不動産開発大手ビンホームズが大型プロジェクトの進展などが好感され、+6.6%と続伸しました。一方、下落銘柄は米ナスダック市場が下落する中、情報技術大手のFPTが-7.1%と反落しました。また、保険大手のバオ・ベト・ホールディングスが-5.5%と下落に転じ、ベトナム石油総公社が-3.4%と続落しました。

VN指数直近1年の推移



VN指数はわずかながらも上昇し、8週連続で上昇となりました。トランプ米政権の関税政策をめぐる不透明感など、引き続き注意が必要ですが、ベトナムの景気は1-2月の外国直接投資が実行ベースで前年同期比5.4%増と拡大を続けるなど、底堅く推移しています。一方、バリュエーション面では、足元の予想PERが10倍程度と過去平均を下回る水準にあり、依然として割安感が注目されます。

以上